

# まちのね

まちづくりの取り組み紹介や、その中心で活動する人、まちづくりの手法のイロハなど、様々な情報を発信!

神戸市では昭和57年に「神戸市地区計画及びまちづくり協定等に関する条例」を制定し、地域の皆さんが主体となって進める「協働と参画のまちづくり」に取り組んでいます。前回のまちのねvol.8に引き続き、その仕組みについて簡単にご紹介します。

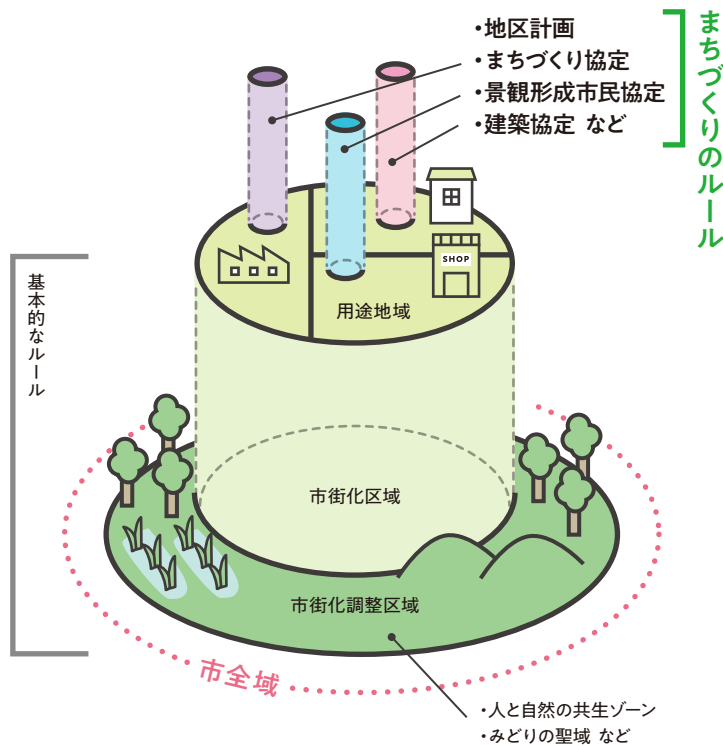
## 「ルールづくり」ってどんなもの?

協働と参画のまちづくりには「ものづくり」「ルールづくり」「魅力づくり」という大きく3つのテーマがあり、今回は「ルールづくり」について紹介します。

ルールには大きく分けて2種類あります。1つ目は〔用途地域〕など全国一律に基準を定めている法に基づく基本的なルールです。2つ目は地域の特性・特徴や実情に応じ、基本的なルールではカバーできないようなきめ細やかな建築等に関することを地域の皆さんの参加のもとで定める事ができる『まちづくりのルール』です。この2つ目の『まちづくりのルール』が協働と参画のまちづくりで取り組むルールづくりです。

『まちづくりルール』にもいろいろあり、それぞれに決めることができる内容や運用の方法などに違いがありますので、こういったことを、どのように守っていききたいか、によってどのルールにするかを選ぶことになります。

まちのねvol.8では、まちづくりってどんなものが、3つのテーマの1つである「ものづくり」について紹介しました。



## 例えば…まちづくり協定とは

まちづくり協定は、地域の皆さんがまちの将来像や方針などをまとめ、そのうち特にルールとして決めておくことが必要な事項について地域で合意を図ったのちに、市長との間で協定として締結するものです。比較的柔軟な内容を決めることができるのが特徴です。

協定の運用は、市とも協力しながら、地域の皆さんが主体となって行って頂きます。

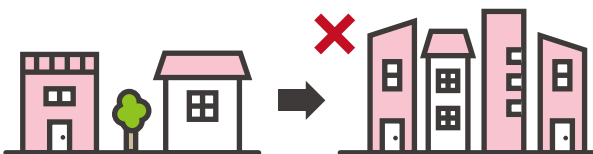
また、協定締結をしたエリア内で建築等を行う場合は協定の内容に配慮する必要があります。

● まちづくり協定締結までの流れや、  
● 現在締結されているまちづくり協定  
● (19地区あります!)  
● など詳しくは市HPで  
● ご確認ください。

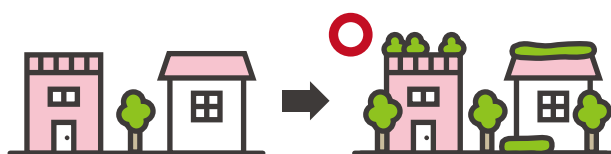


## 例えば…ルールってどんなものがあるの?

● 敷地の面積: 敷地を小さく分割する事を制限します



● 緑化の促進: 生垣や壁面などの緑化を促進します



その他の「まちづくりルール」も含めてもっと詳しく知りたい、相談したいという方は一度お問い合わせください。

# 活動人めぐり!

まちづくり活動の“かなめ”となる『人』に  
スポットをあてて紹介していきます



## からとの未来を考える会【北区】

今回は、2021年11月に会を立ち上げ  
まちづくり活動に取り組まれている  
からとの未来を考える会 会長の四鬼 剛さん  
にお話をうかがいました。



### Q. 唐櫃地域でまちづくりを始めたきっかけを教えてください。

昭和60年代になりますが、上唐櫃のあたりにホテルの建設が始まった際、建設中止を求めました。しかし、すでに市が建設の許可をしており建設は続行されました。このことをきっかけに唐櫃の住環境を守るという事をテーマに「唐櫃の環境を良くする会」を立ち上げたのが当初のまちづくりを始めたきっかけです。長いあいだ会運営が行われていく中で、個別課題は各自治会が対応する事が多くなり「唐櫃の環境を良くする会」は、次第に各活動の情報交換・共有の場という意味合いが強くなっていきました。会設立から時が経ち「小学校、中学校、幼稚園、保育所の今後の在り方」「市営住宅跡地の活用」を始め様々な地域課題がでてきたので「唐櫃の環境を良くする会」を発展的解散し、新たに立ち上げたのが「からとの未来を考える会」です。

### Q. 協議会の対象エリアがかなり広いですね。エリアはどのようにして決めましたか。

協議会の対象エリアは唐櫃中学校区です。校区の中でも複数エリアに区分する事は可能ですが、からとの未来は広いエリアで一緒に考えていくべき事も多く、様々な世代・エリアの方々と一緒に考えていきたいという事でこのようなエリアを設定しています。

### Q. 2021年11月に協議会を設立されましたが、構成メンバーを一部公募としたきっかけや理由を教えてください。

会の立ち上げメンバーの関係性だけでメンバーを決めると世代や性別に偏りが出てしまうと思いました。自主的に参加したいという方々にもどんどん参加してもらって一緒にまちづくりを進めていきたいと思い、公募という形をとりました。公募の結果、子育て世代の女性の方々から参加のお返事を頂き一緒に活動しています。

### Q. 幅広い世代が参加されていますが、よかった点や苦労した点があれば教えてください。

興味関心事、生活リズム、思い描くまちの将来像などは、人に

よって十人十色で様々です。考え方や視点の違う人たち同士がお互いをどう理解し合えるか、お互いの価値観を翻訳し合って理解し合うという作業は大変だなと思う反面、様々な視点からまちづくりの議論ができるという事はとても良い事で、まちづくりの醍醐味だと感じています。

### Q. 活動拠点「ハイネ」について教えてください。今後どのような場所にしていきたいですか。

このハイネという場所は、からとの未来を考える会で発行しているニュース紙を目にした方から「駅前の空店舗ですが、会で使いませんか」と、お声がけ頂いた事がきっかけです。市の補助制度も活用しながら改修工事や運営費の調整を行い、これから活動拠点としてどう使っていくか構想している段階です。お借りした当初から残っている壁面の棚を活用し、地域の方々から本を持ち寄っていただき、本をきっかけにした交流が出来れば良いなと思ったりしています。唐櫃にお住まいの方や、通学などで付近を通る学生さんなど様々な世代の人が気軽に立ち寄って交流できる、憩えるような場所にしていきたいです。

活動拠点「ハイネ」  
オープンにむけて  
絶賛準備中!



### Q. これから唐櫃をどのようなまちにしていきたいですか。

これから唐櫃のまちづくりの構想を皆で考えていきたいと考えています。構想を考えていく上で唐櫃にお住いの皆さんと一緒にふれあい、学び合い、教え合い、助け合いながら進めていきたいという気持ちです。私自身もまちづくりをしていて、知らない事や新たな気づきが沢山あります。皆さんもぜひ一緒にからとの未来について考えていきましょう。

からとの未来を  
考える会HP▶



# 実践まちづくり

## 『まちづくり活動を記録しましょう』

「まちづくり」はとても時間がかかります。時には世代を超えて継続していくこともあります。まちづくりを進めていく中で「あれは誰がいつ決めたの?」「この課題、どうやって解決したの?」などなど、自分がまだまちづくりに携わっていなかった時代のことも後から振り返って確認したいこともでてくるでしょう。そんな時に、まちづくりに関する記録があればお悩み解決、あるいはまちづくりをさらに前に進めることができますよね。今回は『記録は大事!』ということで、記録の作成についてご紹介します。

### 誰が?

記録の作成をコンサルタントの方にお任せしていませんか?まちづくりを継続して行うためには、皆さんが手足を動かして取り組むことも大切です。簡易なものでもいいので、皆さんの力で記録を残していきましょう。皆さんが活動している団体の中で「書記」の役割を持つ人を決めていますか?「うちは書記を決めていない」「まだ組織として結成していない」「今日は書記の人は欠席」などもありますよね。そういう時には会議を始める前に、誰が記録をとるかをあらかじめ決めておきましょう。毎回同じ人が記録をとる必要もありませんので、みんなで順番に回しながら、という方法でもいいでしょう。

### 何を?

記録として必ず残しておくべきことは下記のとおりです。特に③~⑤は大事です。

- ① 日時
- ② 場所
- ③ 参加者
- ④ 今回決まったこと
- ⑤ 次回以降に引き続き考えること

### どのように?

参加者は毎回決まって参加する人がいるのであれば、名簿を作成しておいて、出席者に○をしていくとわかりやすいです。新しい参加者の方は出席者記入用紙等を準備しておき、お名前などの必要な事項を記入してもらいましょう。参加者の確認のために、会議の様子がわかる写真やホワイトボードなどを使った場合はその写真を撮っておくのもいいでしょう。当日の内容はホワイトボードなどを活用して書き留めておくと、会議の参加者とも共有ができて一石二鳥です。

記録は『残す』必要があります。また、誰でも見たい時に見ることができるようにしておくことが大事です。紙で残す場合も、時系列で並べてファイルに綴じていきましょう。手書きでもかまいません。これからの時代、データで残すのも一つの手段ですので、団体でホームページ等を作成しているのであれば、ホームページにアップしておくで「残す」「いつでも見る」ことができます。データの種類も写真、音声録音など様々な方法があります。

### ●会議の当日は…「記録する」



音声を録音



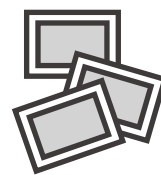
決定事項をメモ



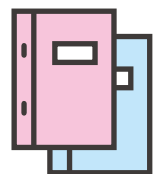
ホワイトボード等を活用



データで



写真で



紙ファイルで

### ●会議が終わったら…「残す」

いかがですか?団体によっていろいろなやり方がありますので、今回のご紹介はあくまでも一例です。まちづくり団体のホームページなどで、活動の記録をどのように残しているのかも参考にしながら、『皆さんのまちづくり活動の記録』に取り組んでいただければと思います。



# まちづくり紹介動画をつくりました！

「まちづくり」というと、何か限られた人のもののような気がするかもしれませんが、実は身近な場面で、様々な方がまちづくりに関わっています。その様子を分かりやすくご紹介出来ればと思い、神戸市内で取組まれている、「わがまちづくり」の紹介動画を制作しました。地域の皆さん、まちづくりの専門家へのインタビューを交えながら、地域の取り組みやわがまちへの想いを身近に感じていただける内容になっています。もしかすると、皆さんも訪れたことがある場所が登場するかもしれません。この動画を見れば、まちづくりがちょっと身近になるはず。ぜひご覧ください。



## 内容

- ルールづくり (中央区・三宮中央通り)  
～通りからはじまるまちづくり、通称“ほこみち”～
  - ものづくり (灘区・灘中央市場)  
～密集市街地の環境改善～
  - まち活拠点「まちラボ」  
～まちと未来を考えるラボラトリー～
- ナビゲータ：ターザン山下

動画は  
こちらから！



ぜひ、観てみて下さい！

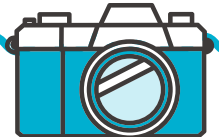
記事投稿：神戸市すまいの総合窓口 すまいるネット



すまいるネット

## わがまち自慢

## まちの魅力発信コーナー



撮影場所：栴尾山の山頂 / 撮影時期：今年の1月頃

タイトル：海・山・街・こうべ！

コメント：山頂から高倉台団地を眺めました。海・山・街がギュッと詰まった神戸らしい風景だと感じます。これからも神戸が素敵なまちであり続けて欲しいです。

ペンネーム  
休日は  
ヒゲおやじ  
さん

みなさんのまちの自慢の場所、風景、活動、昔のまち、などの写真を募集します！応募いただいた写真はまちのねでの掲載などに使わせていただきます。必要事項をメール本文に記載の上、下記アドレスまで画像データをお送りください。

✉ [machinone@office.city.kobe.lg.jp](mailto:machinone@office.city.kobe.lg.jp)

- 記入事項 ① (団体名) / 氏名  
② 匿名希望であればペンネーム  
③ 電話番号 ④ 撮影場所 ⑤ 撮影時期  
⑥ タイトル ⑦ コメント



応募規約はこちら

